

特別養護老人ホーム『いちご』

部署 : 運営 役職 : 名前 :

令和6年度の成果／目標達成できたもの

①-3	認知症関係の資格研修で4名が資格取得できた。
②-1	大木町社会福祉法人連絡会の副会長施設として活動し、社協イベントにも協力できた。
②-2	地域の行事にグラウンドを提供できた。地域のイベントへ参加できた。

令和6年度の反省／目標達成できなかったもの

①-1	介護スタッフを充足させる事ができなかった。
①-2	欠員により負担軽減ができなかった。
①-4	入所・短期合計で90%、通所利用者17人/日であった。

<令和7年度方針>

活動方針／目標

①	介護保険施設として安定した運営を継続出来る体制(人員・設備・財務)を整える(3年目/中期5年)。
②	社会福祉法人として地域に貢献できる活動を行う(3年目/中期5年)。
③	
④	
⑤	

目標達成のための具体的な施策／活動

①-1	看介護スタッフを確保し余裕のあるシフトにする。
①-2	職員の心身の負担の軽減。
①-3	施設全体のサービスレベルを向上させる為に職員個々の能力を向上させる。
①-4	入所実稼働(入院除く)95%、短期入所75%、合計で92%。通所利用者20.0人/日を目標とする。
②-1	大木町社会福祉法人連絡会活動の推進。
②-2	地域との交流を推進し、当法人として出来る活動を行う。

詳細

①-1	出勤定数を確保した上でそれぞれが有給を取得できる勤務体制を構築する為に、常勤職員の確保だけでなく即戦力となる非常勤職員も雇用対象とする。養成校との交流を作る。
①-2	①-1による必要数のスタッフの配置と、機器等の効率的な使用で勤務中の負担を軽減させる。定期的な有給取得でリフレッシュをできるようにする。
①-3	外部研修への派遣、内部研修等で個々のスキルを向上させる。ユニット、階等を超えて指導し合える環境にするために部署間での意見交換を活発にする。
①-4	地域の居宅介護支援事業所への営業活動の強化。利用の入り口である通所介護の稼働向上のためにサービス内容の改善。。
②-1	活動を継続し、他の社会福祉法人とも交流を進める。
②-2	社協、連絡会の行事や地域のイベントに職員だけでなく、可能な範囲で利用者も含めて参加する。地域からの協力依頼に積極的に協力する。ホームページでの情報発信の強化。